



俳句

稲井 爽秋 選

山茶花のこだはり捨つる如く散る 三谷福美
 製麺の湯気あふれ出る冬小路 越智百合子
 ゆきずりの人の優しき花野かな 高橋和子
 加茂川の河口に浮ぶ渡り鳥 青野義明
 雪野原川一筋の流れけり 岡田久夫
 婆さまの小声でうたふ手毬歌 川原利代
 神戸忌やともしびを手に千の風 徳永洋子
 芽柳や思ひ出写す堀の水 藤田登志子

川柳

伊藤 凡々 選

寂聴の法話心の大掃除 工藤 南
 携帯を持たない人のひとり言 今井トシコ
 あちこちの埃見えだす長電話 毛利春子
 駅伝のとりこになった三ヶ日 河渕カズ子
 健康本揃えただけで安堵する 杉田知恵
 家族代表で簡単にする初詣で 越智としみ
 年金を支える孫が一人ふえ 近藤兼史
 船底で世界一周したねずみ 岡田キミ子

短歌

田坂 幸 選

夕毎に撫でては通る道祖神類にふれし手のほ
 んのりぬくし 竹本マチ子
 日だまりに草引く老僧胸もとに子猫鳴きつつ
 顔を出だせり 中村トヨ子
 艶やかな葉に白々と山茶花の咲けば偲ぶる還
 らざる師の日和佐弥生
 ぬくもりは母が手編みのチャンチャンコ卒寿
 の母が古希の娘に 越智百合子
 大雪の天井川に足跡の一つだになし朝清しく
 越智幸子
 七十余年わが足とせし自転車を老いて哀しも
 鈴木千恵子
 粗大ゴミに出す 鈴木千恵子
 甥の子を抱けば二歳のその姉がママに抱かせ
 と吾を急かしぬ 渡部敬子
 残り糸集めて編めばうかび来るあの子らの顔
 あの時のこと 徳永和子

俳句・川柳・短歌 作品募集

作品(俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振ってください)・住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
 市庁舎本館 総務課 広報情報係
 TEL 0897-52-1204 (直通)

Your Friendly Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No. 35 日本滞在を振り返って



▲外国語指導助手

● リチャード・アラディスさん

「なぜ日本へ来たんですか?」とよく聞かれます。ニュージーランドで、日本に住んだことのある友達に日本のことを少し聞いていましたが、私が日本に足を踏み入れた動機はほとんど知らなかった日本に対する冒険心と好奇心です。もともと1年間だけ日本にしようと思っていました。でも、今は3年目です。なぜ日本に住むのが好きになったか、理由を挙げたいと思います。

- ・日本の自然。通勤時に自転車に乗ると、遠くの山とそこに続く鮮やかな緑色の田んぼの風景が目の前に広がります。途中、この眺めがよく見える場所があり、毎日そこを通るのが楽しみです。
- ・生徒のスマイル。登校中すれ違う時に「Hello」や「Good Morning」と言い、ハイタッチしてくれると元気が出ます。それに、生徒の素直で率直な質問。「リチャード先生、髪の毛にパーマかけてるの?」(私は天然パーマです)。
- ・私が出会った人々。学校でお世話になった先生やカラオケで一緒に歌った友達。最初はカラオケが好きではなかったのですが、今は本当に好きになりました(好きになったからといって、歌が上手になったわけではありません。でも聴いてくれる友達に感謝しています)。
- ・日本の素晴らしい食べ物。あんこ餅、たこ焼き、刺身と納豆が好きだと言っても信じてもらえません。でも、納豆が特に好きです。本当に!

まだまだ挙げればきりがありません。日本で作った数えられないほどの良い思い出があるので、日本を去るときがきたらとても寂しいと思います。

<訳: 国際交流員ケイレブ>